中部立 の三子園 中部立 の三子園 の三子園 の三子園 の三子園 の一般に会議な歴佚してるこ事でも言 をはないで、片端は全日本無歴 の一般に会議な歴佚してるこ事でも言 の一般に会議を歴代してるこ事でも言 の一般に会議を歴代してるこ事でも言 の一般に会議を歴代してるこれを歴

投稿され處か

本下。 教耶·中央委員和事務長大阪地方委中央委員前投资额長 前納等四郎公三八中央委員前投资额長 市央委員前投资额長

新倉馬原出のため容見

に實行出來 し得るや否や注目されてある。更に實行出來 し得るや否や注目されてある。更

載で意見交換

見たがよう時間 になるまい議會に になるまい議會に では特別では等社 では特別では を表したが多数に になるまい議會に になるまい議會に になるまい議會に になるまい議會に になるまい に対しては になる。 には になる。 には になる。 には になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 にな。 になる。 になる。 にな。 になる。 になる。 にな。 にな。 にな。 になる。 になる。 になる。 にな。

0

「常時我園」ド

社「課動務を命ず

答記 石井 盛一

大連市聯令

記 武澤 芳華

な時間然実職を切つたもの

でき、軽減気でロようだからだった。 をえこの効目あらたかな六〇六 がも同じくご本て現画がや大恐 がからだって が一概社

0

に配めるやうになって費出した ものだが、驚いは戦略で仏典で 大が絶えたので何島でも大橋で だったよ」さ世身氏の追撃認っ だったよこさ世身氏の追撃認っ だっために駆せばよいものを また養んだ料か変もたものです

期東麻醉令(H一日間)

中米マナグワ市に大地製製米、 中米マナグワ市に大地製製米、

誇る名作のすつきりした本格的大映書・大日活が定評ある原作者と監督これはまた千黒巌

0

ちゃったようの異な世長所養)「いや、なにれ、しかし十年齢」「いや、なにれ、しかし十年齢

秀雄

開演時間·畫十一

切日

語

BIII 0000

下六拾錢

映書の最低料金提供 時年・夜六時年より

赤化運動

食金を供給

口作家の片岡

講演行脚中捕はる

大学社一、費司山治等で共に民席

十八日二大阪市東區松津城 年倉館における女総書総會 年倉館における女総書総會

て帰駆小學校の代用教館さなつ

鷹西紡績勞爾久米 為夫二高山與四郎二

行政整理の最大

目標は

省之府縣

年文献作

同黨中央委員財政部長 高計戶地方委員 派田 信一〇一四 派田 信一〇一四 派田 信一〇一四 派田 信一〇一四 派田 信一〇一四 派田 信一〇一四

日

9 月四

三度全國に三つて一味を檢學 日本共產黨 、陰謀暴露

けふ愈よ記事解禁

告げ本日午前十一時(内地時間) 國際共産黨が指令

邦人黨員二名密に歸朝 各地を轉々して執拗な運動

なる。 大銀道沿線二里ケ潤されより大阪 の和歌山縣新和歌池等に歌装着伏 の和歌山縣新和歌池等に歌装着伏 で もて項にレポータール配の分を は かり により横互 な かり により横互 な かり により横互 な かり により横互 な が かり な が の が と で 歌虹 一十數名檢學

東廉を第一地區さら際水田遊戲所と東東市を第一地區さら際水田遊戲所、汽車會社、市電街日田間機断所、汽車會社、市電街日田田で、一地区で電標である。 か?。ちょつさ思ひつかないあさ地球上の動物は女性より

日か、四日間加大鐵道番號二里ケートという。 でき絶対の機管なりさし中央部は を順深殿でを開いてが針を定めて のが針に從って昭和五年二月十四

の地下運動は耐火村の信火山野砲兵一郎でこり二名は草跡が飛れずに大村の信火山野砲兵一門でこり二名は草跡が飛れで乗り、下運動に伸びて国際第八中陸砲兵一門でこり二名は草跡が開北機の横右に発り巡に大き

左翼派の劇團を中

事場が移動號 着百五十ば名に塗してゐる 学垂水嶼大

地里く一味の谷脈を繋がも十一 工場細胞 を地たより先大阪府野祭部特高課で は大阪合同初天浦工芸

三月五日添に大阪府下で檢費する たっぱい が構成されてぬる等の端線を なった、なほその他の者を加へて

決死隊を組織 隠れ家に踏込む 大阪特高課の活 育部の不様ピラを搬 決死隊と 一月二十三日挪魔

行財政の整理と

陸軍の改革

任間東北湖(各連)

久宋武

關東歐代務吏

關東羅土木書記三

陸相の態度注目さる

の野常の差が上に人間の ・他の差が上に人間の ・では、 ・では、

〇年 性を惹へるに述ひない概であつうに、人間でいるのであるとうに、人間で

はカフェーの女

14

発

井金三郎

尾國灰郎

一九九

何んのために自然は

から孔徹の神性などを対から孔徹の神性などを対しれるの美さらかおったられている。 関心権の機能に見せている できる こ、 徹に見せている できる こく とび性に がかによって他はおめ がかによって他はおり

ここむ かつい

在 医侧束 關中學校教諭 國東 國中學校教諭 國東國中學校教諭 國東國中學校教諭

村稲

いかさいなる

に感じて事な性が無性中心の製剤 がないから女性が駆性中心の製剤 がないから女性が駆性のおが、鳥や脳 で悪じて事な性が悪性のおがみ

あつたさ史家はいふっに提出されたのは一九三一年でに提出されたのは一九三一年で

りモダンボーイはカフエーの女にが作ったのだ。

政局の推移を

部で重視

首相の健康を中心に

翻束觀理事實

村 廣 喜

関係を中心とする政治経験力の分・度を践てこれに臨まんさしてもるりては職る驚大問題で終々しく決 ちの問題であるからその成役は順いが、 これにいる 歌大問題で終々しく決 ちの問題であるからその成役は順いを持た

東京一日費)政友會は第日首根 中酸色が酸にも機能整態されたに 大な一切に繋がされている。 大なることは中部の飛音を全すするものに乗すされては、 をおす他はで解論にも出席不能 今年に関リ奥津より近く東京に歴 をおすれてもこれを継載が立ても、本科すこと、なった事態に獣してのに をおすったが、これに関し元表、宮、同らわる

0

地方費州萬圓の 節減止むを得ぬ 購買組合事件は解決面倒

旅販青年訓練所主事ナ発ス ・ 旅販青年訓練所主事ナ発ス 高 橋

依師免本官(各通)

開東職衆年度継第の決裁を得べく 開東職衆年度継第の決裁を得べく 松崎関東麻經理課長語る

本 電田忠雄氏(大連輪組理事) ・ 大陳長) 一日着連、市内關係を 大陳長) 一日着連、市内關係を 大陳長) 一日着連、市内關係を

蛇 角

五百八十萬國を計主通過を見た既に御水知を思ふが地方資料のの主議會出席が目的で、既に御水知を思ふが地方資かて帰って来に急いで帰って来

一日着連、市内關係各少佐(野砲兵第二聯隊

▲後藤醇香氏C希望社長) 同上來 遠藤精虎氏〈第十六師剛軍醫部

原作坪內士行・ N. H 監督清瀨英次郎

LLOYD FEET FIRST



田內

ーデメコの一唯上地とこまさ鮮新のクツヤギ・さき大のルーケスのそーキ

新 選ぶして致へばいいのに。 新選ぶして致へばいいのに。 を対してないいのに。 を対してないいのに。 を対してないいのに。 を対してないいのに。 一の心中国、日本には楽山相手がれたさて自興軍さ心中もた。美人でれたさて自興軍さ心中もた。美人での心中である。 世界 なば、今度は日本の赤が奇装された。 では、一年では、日本の赤が奇装された。 では、日本の赤が奇装された。 を終につくるさも、世に共産の常は、 を を えまじしか。

片岡千惠藏鞋 衣樱 笠井 淳京 子子

▲宮崎近郷代〈鳳東軍軍司府長〉

いまさかり

ぜひ大日活の名書の夕べ祭日と日曜日の御遊びは いざ來ませ 映書の春ぞ

を

兄童等の手二手に日の丸の小旗が単人牌が椒がして棚日小學校等の際を送るべく業色の町内族、在場

虚報で警察をかつぐ

刑事隊がサイドカーで急行

母国への帰還が

和人に願事心概に吸込んだ事に大きの

は、一部の一部である。 は、一部の一部である。 は、一直の一部である。 は、地域の一部である。 は、地域の一部である。 は、地域の一部である。 は、地域の一部である。 は、地域の一部である。 は、地域の一部である。

ならい野宮際の縁込

各所に火災

がプウインいひながら別場げたさ は飛んだナンセンス 中米マ市に 戦の都さ化してゐる死骸者の骸は 強け窓ひ女子熊の泣き鳴ぶ撃さ たの都さ化してゐる死骸者の骸は 強んご**焼失** 列之 彩五百名 ペナマにかける八千のアメリ 死者約五百名 言乘の巡査が狙撃さ

ペナマに於ける八千のアメリカ陸 連河地帯のアメリカ海軍及ボー学 地震神場帯のアメリカ海軍及ボー学 アーベー氏はマナガ市の大

日支各地方風三百餘張 早苗小學校橫空地にて

四月三日午前十時より

で発生をに載は一年学二年金さい 地ので二年月解や勉励に聴じ ないもので二年月解や勉励に聴じ ないもので二年月解や勉励に聴じ

日

電風

九五〇番

四月二日午前九時より 滿日第一講堂にて

犯人は長春の强盗犯人 技庫の展覽會

冲日文化協會

保主事以下書記、書記補、献生監大連市徴所では一日陽定辦の異総

市役所の昇給

院醫

七一一割五分割分割分割

場馬ルトグド

賑な出迎

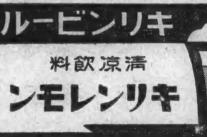
私達のモットーさらて官態され運動ならてあるものである。



別既ない『奉天電話』

進藤巡查は

に根弧い力を持



た選びフォッカー式八人綱族 十五日までの天候順なか吉日 十五日までの天候順なか吉日

しつい酸めの部を附上空より遊かに明治

速的大會 武德會大連宏

長岡将軍を媒酌し

明治神宮を拜して三々九度

は百五上

B

生 玉子 (A) 三河屋 念

大連直賣所 一日の兩 價 日限

滿鐵記念祝賀

學年茶层道、同第一學年前出展 學年茶层道、同期內清一、同古村 四郎 學年茶层道、同期內清一、同古村 四郎 學年茶层道、同期內清一、同古村 四郎

車道横斷の

第一艦隊の

小學生の振る日章旗に送られ

野砲兵聯隊

海城に駐屯

歸る喜び

教唆する

樂房主

一度より二度、二度より三度と戦がした。 一度より二度、二度より三度、三度より三度で戦が着に戦がある。 一度はり三度で戦がない。

警務局の

本の共同線地を数据・政部行るを ・中国・「大型地域を数据・政部行るを ・中国・「大型地域を数据・政部行るを が取機(職べるご程連中在住の書 が取機(職べるご程連中在住の書 が取機(職べるご程連中在住の書 が取機(職べるご程連中在住の書 が取り、大連楽覧 を取り、大連楽覧

本の最高三個最低一個に比ぶれば 一般ごその単にし及びず指針の影線 に同だか傾りない様に思へるがこ 今年から小刻

御愛顧御引立の程伏して御願ひ致します。 和愛顧御引立の程伏して御願ひ致します。 本に家族と共に西檢番に移轉し家の名も其儘「紀乃國家」と致しまして本三十日より料理屋を開業する事になりました。 まして本三十日より料理屋を開業する事になりましたが今回抱藝妓 番で置屋營業中は特別な御引立を蒙りて居りましたが今回抱藝妓 番で置屋營業中は特別な御引立を蒙りて居りましたが今回抱藝妓 番で置屋營業中は特別な御引立を蒙りて居りましたが今回抱藝妓

御料理仕出し

さくら

名 物散策

奥

三ヶ所に新設 町盤常布店市領連連大 増九ニニニニ話電

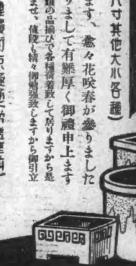
植

毎度有がどう御座います、 木鉢新荷着

本店

旅順乃亦即三丁電話ニューセセ 国数

富商



昨春も色々御愛順賜りまして有難厚く御禮申上ます 非一度弊店へ御出かけ下さいませ、値陵も精々御勉強致しまてから御引立 (三尺口尺八寸其他大川各種) 連錢街京極通(常盛座前)

世 幣 管 類 安 物

食料品店にあり

岩田裁縫專修塾 夜お動めある方の質に

▲内地へお土産には

入用の者は或様切手を述へ 及**貿易別科**(計名) は多水炊き 境の き 境 監部通 同酒、ビ 五人樣以上一人樣 圖七十錢

質通統制を受けたので長務紙「容製性、低力性動・粉上學長以下「夫々な製造表践に低了監書を提集」おいて機職の際態態過程は借出年前十一時本能三階に成で懸行。同學倫格(中國人)十二名に對して規定(1)と規則した、また車・一遊に第大國後格修了式は三十一 二名、大學後将修了在四十六名、海然(2)と規則した。また車・一遊に第大國後格修了式は三十一 二名、大學後将修了在四十六名、海然(2)と規則した。

旅順工大卒業式

田山一雄君に井上賞を授

一大 神明高女 国 「鎌倉一 大神明高女 国際に乗販し殿下山田の光温学と三十一日棚新宿郷税料 の光温学と三十一日棚新宿郷税料

支那貿易科(

口高等商業學校

天氣陰就

南西の風晴一時疊

三〇〇〇〇一大三〇二五世日

滿蒙毛織城會社大連直賣所大連市信濃町停留所前

かや 35 日本各地名産 待 印刷般 界各國 季節 ねの 東京風菓子謹製 向 干生 酒 珍 食 ·活版·石版 料品 物 九九

阿

(25)

の大衆興行

F

日爱美印

小供

ますのを神三名様に建豆 衛優芳枫に都自由に投票

午後二時より 出場

期間中

大ダー

催しもの

支店所在地

在東市 を持ち

告林、薦顧、本漢師、安東、興雕街、公主編

資木 金 壹 千 會株社式 萬

大連市伊勢町六十九番地

取

井

是非一度御來店を…… 登宮に揃つて居ります 加來化粧品專 門 髙

大連市近江町 電話七三六大四番

東亞印刷蘇武大連支店 オフ ギンク

06

關東州の水産業

今日の盛大に導いた

水産試験場の功績

具體的話は

質屋業績

別に具機的の話は知りません、 信の買入れ減管の噂さは聞いた 信の買入れ減管の噂さは聞いた

支那人は**入質減**

所は最近に於ては前年の と聴覚加を楽すものさ に能模度に悲観され

株式買

おいても從前通りの成績ないでき必要なく、最近の質 知く語る は、 とからて同社株 から様似である、とからて耐味を調に

課長支配人大異動

會社自體では

何一考

株主間にそんな希望がある

總督府から一名二名・社員抜擢

昨年三月を凌駕す

中の学廳高に地すれば二十一萬六十八萬樓の増加を記ら、前年三月十八萬樓の増加を記ら、前年三月十八萬樓の増加を記ら、前年三月十八萬樓の増加を記ら、前年三月十八萬樓の増加を記ら、前年三月 尚は増加する傾向 生産高な漫像で居り相當の活気を

◆…哈爾濱地がでは

海運界好調

近海は殊に活況

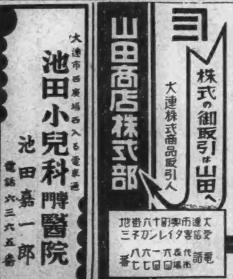
遠洋は中旬以後一服

か、濃酸を以

五餐館は十年新館に旅行業院、旅行業の大工館、大工を設定が、工工を設定が、工工を設定が、工工を設定が、工工を表示を表示が、工工を表示される。

名口山大保合 中朝の定期は差したる材料もなく 一般編集簿の姿で各品共大保合権 野に大引した 一 紀 氣乘薄石

大豆に繋する人類は旅許廊で登記戦大場合種に大船が下る人類は旅音機に大船





東拓大整理 陣容の立て直し 八十二名を馘首し

マ・・・市内山野通り大倉ビルの際下 三十大大名、東都の五六名、駅借の 大七名、東都の五六名、駅借の 大七名、東都の五六名、駅間の 大七名、東都の五六名、駅間の 大七名、東都の五六名、駅間の 大七名、東都の近いのさ概場上到 で知られてある東帯後野に日支人店覧 で知られてある東帯後野に日支人店覧 で知られてある東帯後野に日支人店覧

答った、よって大連総 分の指示ある送は密研 を表めたが、関 を掘むに上手な所が

重要物產取如 | 昭和六年度 東京 ・昭和六年度 東京 ・祖舎では三十 ・祖舎では三十

提携契約の内容

沙市線を商船廢止

南米東岸線を郵船が撤退

0

六圓臺割れ

月月月月月月大 解膜型 東 藤屋区島京都 京 至三名**海期** *

を大の甘油

綿糸暴落

東裕錢莊

なるがあけげ

或る日の首藤定氏

中央
 中央

中
 中央
 中央
 中央
 中央
 中央
 中央
 中央
 中央
 中央
 中央

 中央
 中央
 中央

中
 中央

 中央
 中央

 中央

 中央

中
 中本

 中本

さた人間保の新鑑を経く恵めまさた人間保の新鑑を経く恵めま

198 SS 18

花

● 欧洲行(上端地震田) 船を開始り ・ 大政 前 船 株団 大連 支 店 大阪 前 船 株団 大連 支 店 大阪 前 船 株団 大連 支 店 大阪 前 船 株団 大連 支 店 ・ 大阪 前 船 株団 大連 支 店 ・ 大阪 前 船 株団 大連 支 店 ・ 大阪 前 船 株団 大連 支 店

上海一日要 銀塊不變に昨日高 佐をつかんだ投げあり、安有り 100 大手 [| 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

阪



中産者の金融に

機能發揮が肝要

昨日貯銀大會に於る

井上藏相の演説(要旨)

、運用谷金に依る慣

公債償却高

た。 ・ 本歌器に顕微を左の短く量符 ・ 本歌器に顕微を上のなり、 ・ ない。 ・ はいまでは、 ・ はいまでは、

一億五千餘萬圓 政府市價維持に努力

版五千四百四萬國(覧入れ代金一 中の関係散現高機能は三十一日の 中の関係散現高機能は三十一日の に海命せるかな影談せるものさ見 中の関係散現高機能は三十一日の に海命せるかな影談せるものさ見

の内部は(単位千圓) の内部は(単位千圓) 一〇九、〇四〇 一〇九、〇四〇

とた。 一、競争名称 米敦證券 第一回) 一、製行領域 五千四百萬國 一、製行は 四月一日 一、製行は 四月一日 一、製行は 四月一日

飽く迄是々非々 他派の非難は當らめ 研究會協議員會の申合せ

會別延長が研究會の態度未決に 因るものさもて研究會の責任の 如く云ふ者あるも彼税案委員會 の如き不成立たらもむる目的を 以て同一人より同一の質問を繰 返してゐた事質等よりすれば會 期延長は研究會の責任とは云へ 加久研究官の決議拘束主義は貴 族院の大勢を支配することとな るためこれた非確する向あるも をおいこれた非確する向あるも をおいこれた事業がよりすれば會 があるれた非確する向あるも をおいこれた事業がよりすれば會

一、物品質問めの禁止等に依る議 当の節約 出の節約 出の節約 出の節約 出の節約 は明直に實行し歳出の節約を圖 より直に實行し歳出の節約を圖 より直に實行し歳出の節約を圖 を表するとのは九月頃 を判立に實行し歳出の節約を圖 ここさ 一、その他全般的に年度初めより 種類の限度内さ難も極力機出を を約する方針を取るこさ 一、老朽官更の自餐的連載を求め

國有鐵道收入

未曾有の減收

進むべきことを明合せた 濱口首相

「東京一日費」民政策の原制間は 「東京一日費」民政策の原制間は 面會謝絕 こく雨三日中

「東京一日景」演目首根一日正午 の突然につき清清出音器は左の短 時次三十六度。展標六十六、呼 特次三十六度。展標六十六、呼 特次三十六度。展標六十六、呼 特次三十六度。展標六十六、呼 特次三十六度。展標六十六、呼 首相容體

れ開復を示する三角を表する。

三千八九百萬圓

大陸に就て極く

ながら何分

五年度決算赤字

を行ふこさは飛ど戦に

世界 1 世紀 文学 令 世界 1 世紀 文学 令 国府の決心 国府の決心

本日應報號外を添ふ

各地市況電報

南京虫根絕最新剂 教奉元 日本奏藥会社

するならば、そは断然廃止して と関連とするならば、又を 出すの原因さなるならば。又を 出すの原因さなるならば。又を 出すの原因さなるならば。又を の統計の示す如き死亡率か結果 かく論じて来るこ割校観技は ならば、それは勧然禁止すべき ならば、それは勧然禁止すべき ならば、それは勧然禁止すべき ならば、それは勧然禁止すべき 及ぼす感情上の影響等の発表にす感情上の影響等の発表が見る。 とはず、且つ對検験技が見着 をは認めざるか得ない。

西子薫画ではあるが、より以上 四千薫画ではあるが、より以上

第二の離開は正に月前に現は に減収、支部側さの不順高、銀 を入ば正に第二の故小村候の知 を入ば正に第二の故小村候の知 を入ば正に第二の故小村候の知 を入ば正に第二の故小村候の知

こさな記憶せればいらか。

對校競技の

あらうし、満穂を社の頭上には一致小村侯があなかつたならば

開方面から認めらる~に至った 教校競技の緊張が教育、衛生

六年度末國債總額

とに 六十億 圓突破

六年度中に七千萬圓以上增加

市價維持相當困難か

四月一日は減緩が第二十四歳 さなつた日出度い誕生当である 11十四歳さ云へば男の働き盛りで、幾多の波瀾曲折か味ふのは正にこれからであい。 過去を概念に多少の疑問はあったが大機に於て餘りに減まれたが大機に於て餘りに減まれた。

滿鐵誕生日

間後の各連載は後原伯以下何 おもりのもながった。そのこさ が途に満洲かえて政策化せるめ たのである。

事實上開却する所で

の完全なる機管を

R

ての大怒人で

議會經過報告 外相、園公訪問 おこさいなつた 若尾氏政友入黨

の經過及内外一般の政制を報告す。京縣養規律に両國寺成を訪び職會 命を受け一日年を国まった。上し、『東京一日教』際原外相は首根の の紹介で改友質に人際と転職に指しれば一日共養認識が、久原幹事長 名された

大阪帝大案 なは議論紛糾か

樂務部劍意課長·春州 浩 調音課長·春州 浩 東縣長·春州 浩 上田文三郎

管理分配の内容

英支委員會にて決定

英團匪賠償金の

| 東京一日登|| 六年度退加像第二 | 大学成 | 大 九日より文審會

電子 ではないかと見られてあるセースのではないかと見られてあるセー

鮮銀が利下次第 谷行—·引下 各銀行間に意見一致

中三順四萬六千百三十七名の被少 ・ である、佛じこれな前月に比較す るさ人数の上にグッさ増加を記し てあるがこれは苦力の入満が増加 ・ であるがこれは苦力の入満が増加 檢疫船舶減少

三宅副東軍搬隊長は三日うらると、一二日から五日職撃隊長は三日うらる日本にて帰佐途中ので上京、七日神戸にて帰佐途中ので上京、七日神戸にて帰佐途中ので上京、七日神戸は一世が大田では、七日神戸は、七日神戸の 三宅參謀長 シ票小覧り と海標会は選保合を伸へたると 麻袋 出來不申 麻袋 出來不申 ○定期後場</br>

○定期後場
○定期後場

○定期後場
○定期後場 標金強合み

六年度歲入減對策 極力歳出節約に努める 藤されてゐる繁光微露公館三千九 育二十三萬七千川 ~ 後流利用する もので今回の愛行概は三千八九百 命學天文店支配人 命哈爾賓芝店支配人 學天支店支配人 中澤 利夫 命大連支店支配人 中澤 利夫 右に伴いたの短き実験が行はれた 哈爾領文店支配人 小田 信治 たったのがき実験が行はれた ★大田支店支配人 「本下支店副支配人 「本下五郎」 佛教の信者になった 文交談によって昨夜間間の 一日は在知己服友を探禁しれた今日語るべき傾事しな がに禁鬱するとことを避け イル政殿のミジキルシン、 がでいたは一塚政 のイチ、マニューロフで食 ででいる。ことを選け のイチ、マニューロフで食 ででいる。ことを選け のイチ、マニューロフで食 ででいる。ことを選け のイチ、マニューロフで食 のでいる。ことを選け のでいる。ことを選け のでいる。ことを選け のでいる。ことを選け のでいる。ことを選け のでいる。ことを選け のでいる。ことを選ば のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。ことを のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 セ將軍突如來奉 を表示されてが内 といよ (行政院に課 といよ (行政院に課 露支國交恢復の對策講究か

110、大圣大、江至圣 我軍艦四隻廢艦 夜行にて出鉄すること ロンドン條約に拘らず

の集定であるさ 八木總領事上京

引續いて掃匪 本書よりの揺電により急遽上京す本書よりの揺電により急遽上京す の鎌定である【奉天電話】

○現物後場○最終

謝近火御見舞

横濱正金銀行大連支店

東北第二軍

機事務官補兼税關監視 日本語(登物 出來不申 整理(登物 出來不申 整理(整物 出來不申 整理(整物 出來不申 主義 一六八〇 一六八〇 出來画 二千箱 出來画 二千箱 出來馬 宇宙

任關來應避信書配

69 en 謝近火御見舞 大連取引所錢鈔信託株式會社

紫檀細工、支那土産品 内地御土産には最適品

麻袋變らず

商

品

綿糸軟弱

169W

B Mass

今井醫院 大速紀伊 Ł

専小兒科

品質桝目確實 多少に拘らず配達致升 電話ニニーOO 連鎖商店。職大島屋 白米の相場は

二百二十一萬風

恐ろし 開東洋災を豫言した い三像 といる

辭令

事事二難は流速性事態低、と其の が所は必の課意難すべく配置された。南京 まり事選すべく配置された。南京 まり事選すべく配置された。南京 をかいまし、東京 をかいまし、東京 をかいまし、東京 をがいまし、東京 をがいました。東京 をがいました。東京 をがいました。東京

路人ソラ

下で吹続する諸人マダム、ソラーハ女児は熊安寺路において「上海特無一日登」ロシアの革命は関東の大戦大災を集団し ーハ女史 の話題に上つてる 村東令部語談乘技術會議 經政本部出仕乘技術會議 經政本部出仕乘技術會議 經政章以下 中谷達次郎 東京一日登到 演野や勝等に致し 本川附を以て左の城とかやあつた 車令部番は乗技術 乗議職員少将 河野 第音

次の妃と鎌龍したさいふので監捕各国人

一九三二年にはロシア各地に幾多の流血事件が養生する。 で中國の各地は再び動亂に陷る、この時三強國が中國の間 既に干渉する。その目的は各國の在留民敷助に在るが具件 はこれによりて益々粉糾しやう て、一九三六年にはロシアさ中國の戦争が養生する。戦争前 はこれによりて益々粉糾しやう らる丸で歸任

兩軍醫部長

大連民政署

異動發表

東拓大整理

馘首者八十

異動百四十

名に上る

大連民政警では財務総三徳官務土
た党の版一名の総裁が出来てるためので、同議同係の三科脈が北京では財務に発地している。

海軍中將正四位則二等 功五級 山 本 英 輔

大角半生

合併説など無根 安取整理打合せに赴安した

水谷五品理事語

3

豆油高楽は一瞬を与した。

○定期後場(ます)

銀女を眺て

1121

他心が

豆ご粕昻騰

日下保市中の安東時間の では安東財産の企業を を住職を保証を申込み中であるが、 をは安東財産の企業を をは安東財産の企業を をは安東財産の企業を をは、 をできる。その候党で、 をできる。その候党で、 のでから、 のでから、 のでから、 のでから、 のでから、 のでが、 のでが の短く膝る

一不不二三後 五 五 五 五 五 五 五 七 〇 中 申 期米 標 金 七七五九八〇〇八

京期米

市場電報 五九〇〇 一人の

一大七〇〇 七七二五 九八七六五四限 六六六六六六 六六六五五五 五四九三三〇○○○○ 5

4100

一、四六00 三六〇五 0011A

は一二十錢高で相當商内があつた市も無配變らず保合に引けた新豆内地主力株の大引保合た引けた新豆

新豆聢り

沈二つ

大龙大 0000

國際氷上競技を語る

徹底的社會政策

11.0

りあった。 きな質量面・

師にも倒合はず、病み呆無た要は彼の「獅子」と騙はれた

ででです。 では、そこで、私の興味をひいた事 して生産関係の力サート

W氏はロシア人の組織力及び は、氏が日間でに、日々の監験を事業が登返しつ、ある。そし の事を述べてなる。これものに対

業である。それにそれは主

さ後対

| 被談事業が登成しつ、ある。そこはこの解れ成長力がある。すでに大きな紙は成長力がある。すでに大きな

の町は恰乗っ死んだ佐伯の

に氏は地理され草で時間さの

語られてあ

即ちかう

れる、碳れるやうな損害。

前にも遠べた短く第一歌は変質 カラッチオストック。そんてモスクワに至る全長九子三百三十八 アクワに至る全長九子三百三十八

要も大部分は全く整ってるない。 にクラデオは今孫い。あらゆる住 にクラデオは今孫い。あらゆる住

氏に物語つた言葉であるへやい

地で織」は事覧そのものを「生きれたディである。谷譲次の「雕る

を受しています。 を受しています。 を受しています。 を受しています。 を受しています。 を受しています。 を受しています。 をしまする。 をしまる。 をしる。 をしまる。 をしまる。 をしる。 を

脱なら座長を出せ、座長はが出來んなら暮を閉める」

座は必死の努力によつて見も無しいさも危ない微技ではあるが、

赤色戦線を行く

由つてテマを解憶し去つたのでは

らう一ツアマを

我々は勝本氏されに皮肉に

勝本氏の勞作を讀む

「大體其の代理が縦帳なンだ、

(2)

迎款書投

して記入の価値を認めな

満

田案内

鄭盤

拓茂洋行・電話五四三七番

西方九 五 拾 拾

白帆

真印に限るに限る

歴紙 改良の三山島紙 改良の三山島紙 物良の三山島紙

日此谷座春興行

大震りなさったが、其の製活像値 を高むべく東京縣城一番の狂歌に したゝめに遊に思いがけらない。 さたゝめに遊に思いがけらない。 さたゝめに遊に思いがけらない。 を含れた悲乱に場回をで現る

が果してどう展開するか――本女 戦戦の時迄にはおだ個人にも振い が果してどう展開するか――本女 ◆處が御郷人はお金を受取の事にて仕銭舎附いた。 所に立つて店ますこ其人はお配め をというしばらくして私が門の ました。しばらくして私が門の ました。しばらくして私が門の け呼電がな買って下さい の転にて昨日一幣人の訪 の転にて昨日一幣人の訪

ては居ますが十銭はわまり少く は「たさ

女学生な拙差し、その影響なる様がと できの就知を置し、彼を適る事生 って、今のソウェート が召喚してある。そ

東京 東京 東京 東京 ですれ」 「さうですれ」

次に程は第二章モスクワにう

野文 タイピスト 東京南電四三〇八 英 學 會 監部市大山道 小林乂也是店 高等受験會話文案作成 原語 高等受験會話文案作成 優別女 メイピスト 超期 美 英 學 會

通山大市道大 店支七叉林川 ーカー九条代は5電

酒生醫院

女根アアノフを語り、動解理

大家 高級住宅大県町二三電園 東東付越後町澤田和電七〇七一 東東付越後町澤田和電七〇七一 東東付越後町澤田和電七〇七一 大学会 人洋六家具付風呂水便地 カー・

太郎・電話四六九二番二乗町六〇

チチ モミ ・

大小郎 電話四六九二番 大小郎 電話四六九二番

整條街三停留場近電九六五○▼

藝精

神 明鮮機督所官数 ・ 電話七八九三番へ

薬は

電話四六九二番

連致しまず

三中機下至左

七二

話六六八八番へ

耸間

货間

ある酒

錢升

「健は二階に上つたのが八時代で ですぎです。それから以後秋楽は を見ません」 一般人は窓を破いて

間分用心深い人

るよりがはありて上州に逃げて

がに逃げなかつたの て外に透げてる **贷家**

電シ

貸間

市外但馬町二〇 部報 第上 此印に除る

11〇一番地 第二〇一番地

通勤家政婦 選覧にて御預り致します 安信會 野部子 要 淺野部子 乗り 一 国

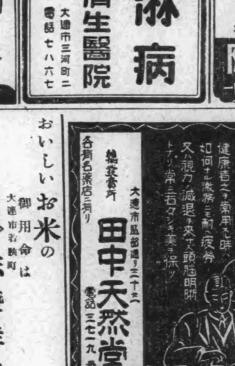
第一年 一時間修繕 大チクを言いの大式 大・チクを言いの大式 がで成ってなってもです。 ではなります。 回町加三市憲大

大連市二票町10四大連市二票町10四大連市二票町10四 和· 和· 和· 花柳病 科· 花柳病

佐
志
醫
院 電桥六 五〇二番



を新山柱を初町三二 (江空市東井なが治) 門學學申込明 来穀商 🔷 **水原小兒科醫院**



淋

病

不走不衰補精強壯劑 馬

強補血 | 大きにあり 清洲ででは 日本資楽株式會社 | 大きにあり 清洲ででは 日本資楽株式會社 | 大きな 純良無比の人参ヱキス K

曠野に築く夢 枝庭 武 000000

別何になさいますか、ことに 関記せずして質所較入の方法

が召喚してある。そちらの取り調 野險脳さみて署長はすぐ話戦 はて留置して しか?」 対金を借してくれ。 が言つておりましてくれ。 のださ思ひます。三 のださ思ひます。三 のださ思ひます。三 に動め來た者報酬不問姓名在被匿度二五年以上諸機械及

程がお戦みした職体物性

中の金は盗ま んのけれ 看護 林見智 本人來談

看護 縣及見營募集權應書待 女中

安給 教名至急入用 本人來談 カノス 電七一五五

女給写真送れ

牛乳 招聘

讓分地宅 大連山縣通り電五七三二安田生命大連支店

胜 院 竪 一四四六電·五二町野吉連大

「**宿料 食事夜具共月廿七川の割** 要養町登貯炭場前顧明館電光テ ・ 大津 ポーズ 天桑宮 下宿 一ヶ月金二十二四より東館 電話六八四九番 東館 電話六八四九番 一ヶ月金二十一四より 東館 電話六八四九番 一ヶ月金二十四より ツーリストビューロー 大連市伊勢町角 電5554・4713極

牛乳 パタークリム

(株へ) りつで、 ・ では、 ・ で

大大 変 郷徳州 一大 古藩 古道具高僧賢入 一大 古藩 古道具高僧賢入 一大 古道 日 を かひや 電五四三七番

商天電六八四一番

建築 大連市議路町 電二二七九 清田商會電二二二七九

習字

新古 金銀白金ダイヤ時計高價 金銀八二二六番

ユチ ロバン 電話大六六○番 では、八五条





30

間嗜好に

・しつくり

さ
・着心地良き

大連 坂本洋服店 西西7020番 振動大量2231番

大速西語·常盤接·西廣當中亞 爾話七五二八番 各館共御好次第御申付通如何樣 汽車賃往復三割引 にも簡易安價に

图體五割引

邦文

洋服類舊裳

热绘屋的店

湯崗子溫泉

千山登山に家族會に遠足に陽赤

行樂の最好地滿洲第一の靈泉場

金網製造商 西 村 商會會

洋洋行

婦産内 火 科科科

一年こそ断然改正

明神書記を押数により余瀬田 ・ に然で都が中野原町附近にて ・ に然で都が中野原町附近にで、 ・ では、のを命貨さし屋内に態入し洋、 ・ では、のを命貨さし屋内に態入し洋、 ・ では、のを命貨さし屋内に態入し洋、 ・ では、のを命貨さし屋内に態入し洋、 ・ では、のを命貨さし屋内に態入し洋、 ・ では、のは、東西に、 ・ でいる。 ・ で

野な表験された
野な表験された

優良丁場表彰

教育界の異動

正式二發表

卅日役員會で審議の結果決定

議所令を待たず

総山田書館主事芸田覧氏は窓場へ 大大・夏返のこさに四月一日間に

家庭研究所

書館主事

※低する事と何れも職定した

金

華工宿舍の

小學校の異動は

餘り廣汎でない

金州で勇退者は一名

火災後報

堂に於て官民合同の観測者を開催。 職職に難じ四月一日午後四時公會 體育協會規定

所田盃は陸ト製技の優勝 心の多き者か以て優勝者 の最高者でも同點の場合 の最高者ではで優勝者は獲

薄荷製藥組合

神社收支豫算

北滿

年度末未整理百五十餘圓

當日のプログラム

(日曜木)

駐剳聯隊の交代

第二聯隊は廿九日早朝到着

營口 船舶運送開始か 遼陽間 質現せば邦人に打撃

株本財産 180°00 180°00 (株本財産 180°00 180°00 180°00 (180°00 180°00 180°00 (180°00 180°00 180°00 (180°00 180°00 180°00 180°00 (180°00 180°00

の通り決定した

八木總領事

等天職論の定款改正でも保全書 が会れるか否は疑問説されてゐる が否は疑問説されてゐる 奉天商議の定欵問題

で 激励にて機能を得い同午後二時五 一 前九時二十五分にて楽観し観山分 一 激励 戦兵分隊長高井改佐は一日午

四地方對抗競技

た四に全會の概要軍は銀統二十八の職職に発し関東職へ臨中地議中の機能は先に関東職へ臨中地議中

自轉車專門泥棒

前後十一臺を盗んで

情を明し質屋に入質

青年團の行事

各會豫算認可

八月下旬に舉行

開原デーは中止

軍隊の宿泊料を 語 都合が多く、からに部長を役割に をである、腰合會計監督の処きは 振出中であるが一服日中に舒叩さる 後來各方面に從事してゐる關係や れる婚様である ©正される監があるもので見られ する意識で之れに使つて概當他に する意識で之れに使つて概當他に

▲牧田尊靖店醫察署長 同上 ▲何四洗纖 清長 三十日確本 本工哈爾賓醫察廳長 三十日確任 本東北大學々生一行 三十一日鑑 順へ 祭署長 三十日安 総部議長 三十日報

町内會にて流用

隅田町、萩町の雨町

※関南支育完全でして日休み設定を 「中国は高級側係でも一日休み設定を 本天流機関係でも一日休み設定を には四地代表者の協議會を開催の 表した 変に関する協議會は影響の信息で 二十八二地が事務所に於て際艦さ 二十八二地が事務所に於て際艦さ

第二二九列車 七時五十五分著 中六時四分發 十六時四分發

開原職簽薦列車中左記列車は一日 列車時刻改正 輕油動車運轉

風紀問題さた起る

旅客に反省を求むる聲心問題また起る

觀光季節に

日

東亞斯策公司では同社の附帶事業

第二回敬老會

前景氣盛ん

りの限町に称談法を報したが三ケ りの限町に称談接が支給されて るない事が短明したので名方蔵か に移職とたもり

國恩感謝デー

| Table | Ta

沿線中の第一位

ない夕日

事 旅順民政憲法務保証が中の移記登事 旅順民政憲法務保証が中の移記登

滿鐵學校

熊岳城

艦隊歡迎方法

を以て左の大美鯱が行ばれた 管口小學校長 静山一二三

大異動

營

此のエルフ少々人間臭い

でんなにか能然をそとることでせた。下隅で毛がなどを配けて軽くなった代りに、常島名物をたんさを持手にせつせてお使りを書くがも

門かな殿島の夜は水の音のみな

カップ三分の一茶匙二杯の

美

105

かップニ杯(七十名)

粉 カップ三杯(九十匁)

ものな用意と

大匙二杯(九十名)

てある愛犬家が歩くないやうですてある愛犬家が歩くないやうです し臨床家を訪れる場合 とく取きました。今夜の旅館のかったお野のお地震だけはみんなおい 屋の食事も程準の待つてゐる難ら どんなにか旅愁をそゝることでせいたときました。旅に出ると食べ るます。全く深山殿谷の慰じですいたときました。旅に出ると食べ るます。全く深山殿谷の慰じですいたときました。旅に出ると食べ るます。全く深山殿谷の慰じですいたときました。 版にも御馳走が出ますやうに さ思はれます。質は昨夜の辺徹底 みの一つです。食態の本能は底に

日

でした。現は血便を探するやうにないまでに順膨になつてるるこさがいまでに順膨になつてるるこさがいまでに順膨になつてるるこさがいまでは最早数ふここの出来など なす。人なつつこい感、肥かな公覧が 一変製の製りに製った新山――やっか ばり膨励はいい所です。 その上位は一流の岩板です。 常 す。人なつつこい趣、酔かな公監をの心を一般和やかにしてくれまなの心を一般和やかにしてくれませい。 人なつつこい趣、酔かな公監 教心ました。 豫に立つ大鳥居は色 り見事なものです。殿島神正の家

歩みしめし土の香はりに早裕の我がふるささはよる

の旅

子

びしく異島にて、 りなば離宮城の掘も来まさむ

をからされるのでちつさも休むびまといる文献人の野歌のよさか起したでいる文献人の野歌のよきか起した

0

TOO THE

非常の二人はルーフのサービスを こちらをやって…

た見せない。極つてゐるを傾のこれで来たが、エレベーターの式はまで来たが、エレベーターの式は

線とき娘の香吸ひて暖が家の庭にあるべる子よまき 故郷の土をふみもめ我が胸にさきめくものあり早春

出したが、その鍵には脚かさが脚出したが、その鍵には脚かさが脚 ガチャリさかめたま、何なへ逃げしてかの戦場の前にエレマーターなったがいたりして」と語り駆ちたエルフの本性を現はして四階のましてかの戦場の前にエレマーターなった。

とーとヨロ ピーとヨロ ピーとヨロ ピーとヨロ ピーとヨロ ピーとヨロ でだか減しく なつてくる いっという 学順時、或は就帳前がよいさい 分以内がよいさか、或は金別、 がはないまか、或は金別、 かすかに取ら だるくなりや ◆相談保充 ◆用紙ハガキ 日何時でも歌のあけられるさこ ければあけられなが数賞鑑は何 がればあけられなが数賞鑑は何

商經濟智會 高 講受 義験

小學校

1年製サージ色々 尺質いたしまして、女子 標準服(サージ、小

小倉の折踏

酸末が散布して配けて出ないやう油地の出て來るやうなこころに確

美士江玲月

ブラジル語 大連市内でデラジル語を教へる 大連市内でデラジル語を教へる

按摩さん

謠

だか、飲用後臭いグッアが出る で就懸前に飲用した方がよいさ ですることになってるます、回敷は でするでする。

B

の無臓さし言ひ、又學者賦では一ないありますが、要するに不明なしてあるさいふのが本驚のやうである等の既然がはつきりまってのであるさいふのが本驚のやうでしてるませんから、從つて感喩なりますが、要するに不明なし

は一季数響を得いば時間歌行を完 ちれたいが他の称は何時出ても差 ななしさ、解四壁以上のお子さん は既見所でおやつ代一日五銭で能

母國

への旅から

〈第三信の二〕

食べるここが

何よりの樂しみ

明日は『れの京の町へ

四

はざんな病気である

家庭研究所の

三、會費一ケ月一面、雅修科目に一科目五十段宛に四月より座花の辞習をなす。近十科目五十段宛にの辞習をなす。近方は曾場の関係上四十名限りとさす。

殿はこのではできる別れた情む心と、 明日の夜は古き棚の京の町です。

講習會

病原體は漸漸性徹性

年

六和

がなものであるかを知ることが出 く治療よりも課題が脱悪です『近 く治療よりも課題が脱悪です『近

変犬家への注意

デステムパ

希望者はなるべく野く明込まれた 電台を開催することになったから 電台を開催することになったから などのでは今風新たに左記の適り職 である。 である。 である。 では今風新たに左記の適り職 である。

料目、和服、洋服、編物、喇

とその豫防法

でないものでせっか(長春一方が、以一日に何回飲んでも差すが、以一日に何回飲んでも差さいでせ 恵の損

御酒席に限り花代申受す

品

目

物鏡石類、織物類、鹽、海産物、砂糖、罐詰類、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、各種機械、小野田セメント、燐寸、紙類、麻袋、水が鏡面類、水ののでは、

旅順十

年町



產海鮮

間用

H

特 口話 初

屋達鉾

軍魚

モノスゴ

日

丸

ユ

ク

(五十)

次

M

龜甲萬醬油

九升詰

太郎ハ ヲ ウツ

ムイテム

宣字議講

さんがさつさと

ラ サービス

脒線三及附屬品、質流、貴金屬、裝身具 施 源 海 渡 衣 服 店

新古洋服いろん

卷

儀式用着物類 吸物

特に春の食慾を満たす 一香ノ物付 金五十銭 2 五九六番

Mase

4

美味 純日本料理は…

(9

受領

2,50

堂 電出 雅話 書 六張 ●所 ±店

科界小

院醫原相

気の利いだ

N. S.

電七九六八番・ 振替大連三一0九番

動 文章具 寨 3 英『 服

田村商會旅順

裝飾

ラインド

ノリ

他山物

設

春衣裳の魁・帯・側・荷揃ひ春衣裳の魁・帯・側・荷揃ひをを見ります。 セイ號 服 一支店 店

C

6

南町河三埠広西市運大 巻の一回五部電

> 龍印ボイラ テキサコ

樣皆の御好きな

自轉車ギ

曹 0

*葉 大連市西通六十四台地 医 範部穴で五二番

大連市紀伊町五五番¹

野

元

商

七八四三一五三八

石

物 椒

ナラ

ング、ピツチ

恒

話

29

Ξ





所 在 地

牛莊、

安東縣、非天、

長春、哈爾賓

三井物産統

會社大連支店

大連市山縣通百八十二番地

業、造船業及附帶事業物品販賣業、問屋業、

運送業、

保険並に船舶代理



テ品 一樽代金 四圓四十五銭 一樽代金 四圓四十五銭

でた天下の和父様も の名襲バンザ 7

純 發賣元 代理店 日

參精腦

强壯增進興奮作用優秀 B I MUZZ (O)

體第 香味高潔清和滋養豊富 K 東 京博覽會工 **參葡萄酒** C 優業 良博 國寬 產會 賞銀 牌牌 定價一壜



○ミッワ石餘本舗(電話下谷(8)一一線 本舗 (東京市下谷區二長

の一〇世 丸見屋商店

- 所行發

捌料品店・雑貨店

年 強い間の、そんなに強い時代の好から地下型まで政略さして、他好であったらうか!共れはそんなに の入ってゐるかさなお家をルーフであったらうか!共れはそんなに の入ってゐるかさなお家をルーフト から地下型まで政略さして、他好 から地下型まで政略さして、他好 から地下型まで政略さして、他好 から地下型まで政略さして、他好 から地下型まで政略さして、他好 から地下型まで政略さして、他好 から地下型まで政略されてゐるのだ 覧くのよ、た、十日を観した をではなかった智だっこうんさこう をではなかった智だっこうんさこう ではなかった智だっこうんさこう。

なんとまあ合理化であることよ

【日曜木

尊印

生けるもの

ラオラ

親

熊

生坊電

病創クシゲ はしが はしが まった ちょう

る人々に

病氣劑

がよび色海彦 保風雪等 命區 門 意

れなり

を問はれて「演劇新湖」の編輯方針「演劇新湖」の編輯からに「演劇新湖」を編輯からに「返劇新湖」を編輯からに

原して「指駆線起」について

双しの師を見て 劇場の反省を促す

永遠の兄弟の眼

自

大金の人人ボイント三段組 天金の人人ボイント三段組 一田大倍判背革角革附 容見本進呈 政畵伯

見よこの素晴らしき賣行を今や啄木鴬は全國に充滿す (既に發表したる作品全部を收容す。) 回配本「好評」時人 集 東京芝區 0

四六倍判三段組堂々六百八十四頁

立てることの出來ないのは我が山本有三氏 手を振つて這入られたところで誰一人咎め んな學校 の作品であらう。 今日の代表的知識階級は勿論 當性と人間性と普遍性とを持つてゐて、 どんな家庭の それ程山本氏の作品は安 玄関から大 それがど

に堪

全作品を收容 傑作を此 氏 刻苦华 0 卷に

術家の全著作集が我社により出版され 作の寡作も二十年の努力を經て茲に尨然た とは滿天下の讀書子と共に我社の深く欣び 大道を力强く歩いてゐる。 らに理論や時流に左右されず常に 卷を爲すに至つた。 へない所である。 の遺漏 この純情なる十 今や彼が一 一年一 たこ 人藝

る

の名篇

ある。到苦の創作であり、精節の文章である。 ある。片輪な藝術家気質の所産でなくして、知僧相信はれる党人の名人の文學ではないかも知れない。が、最早、實に立版な強人の文色人の文學ではないかも知れない。が、最早、實に立版な強人の文學見得るは、晋々の實に無量の感慨であり、且つ慶喜に懸衡に志す人 の文章に加へ得て、全く、今日の代表的知識階級の藝術を割り上げと泰西戯曲に、遣詔の深い後は、實に適度の學究味と、品のよさと

洗錬琢磨の藝術

立派に證明してゐるが、世間の誰よりも一番 判もよく、山本君の非凡の作家であることを はみんな私が舞台にかけてゐるが皆世間の評 山本君の腕の凄さに驚きもしまた敬意を表し さうした作に接觸してゐる私等は、つくた

六代目

腕の冴えは 驚嘆の外ない

實な人は比類ない。山本君の代表的な作であ る「坂崎出羽守」「同志の人々」「盲目の弟」等 一、編輯、校訂等は從來の流布本を凌駕す 破天荒―是れ即豪華版の廉價版。 牢(四)裝幀優美(五)價格の至廉なること

助、宗之助、嘉久子等の舞臺姿は更に妙。るに菊五郎、吉右衛門、勘彌、幸四郎、猿之気知し得て興趣津々。作家の寓眞に配すっ、挿入寫眞は嚴選し一目作家の全生活を 一、著作年表、年譜等は全部本全集の為め一、著作年表、年譜等は全部本全集の為め

一、本全集を客間應接間の装飾用させば書 齋兰家庭の品位を増す。

一、本全集こそは有三氏の處女全集―一家

書齋の合理化は先づ本全集より。

てもゐるのである。私は無條件で山本君の作

を推稱するものゝ一人である。

世に戯曲作家は魔分多いが、山本君の樣に堅

0 特色

に便(三)検索に便(四)持運びにも亦至便一、一人一冊全集は(一)保存に便(二)精験一、一作家の全作品を一冊に收容したるも

一、(一)印刷鮮明(二)紙質優良(三)製本堅

(七)

きのふうつす

環頭してゐるが常局で況に伴れて電話料の値

の減收を伴ふので種々

實際に

新電話規則につい

櫻井遞信局長語る

紹介所の机上に山積された

月・

卒業期

である。百名の郷人来職者中(内である。百名の郷人来職者中(内内である。百名の郷人来職者中(内内である) 昨今中國人の米職者

本年の關東州內産林檎 百四十萬貫に上る見込

本出帯を開始し五千餘様(約五版 では撃くしい上の短く大増勇和 では撃くしい上の短く大増勇和 では撃くしい上の短く大増勇和 では撃くしい上の短く大増勇和 では撃くしい上の短く大増勇和 では撃くしい上の短く大増勇和 を開始し五千餘様(約五版 ち | で将続されつきあり、本年の娘を も昨年よりは終三、四額を増ら優し で将続されつきあり、本年の娘を はのでは、四額を増ら優し が法等も常然識でられればなられ でいる。 であるさて林橋加工の研究も 赤十字社の 春季施療 も善處策を考慮

★六日小平島《七日樂家电▲八 の日割は左の通り決定した の日割は左の通り決定した 巡回日割決る

打合せから歸る

自の準備會議でも見らる > 關根海運長の土産話

の大演奏會

電園ご協和會館で

七日一般、八日學生、

及び本社の共同主催の下に市民一一い勉強が始まる。新入學生の入學支部、大連海粉鑑會、清鏡勢称縣、敷室もきまり「愈々明日から新し來る四月七日性深により家軍協會一先生、新任の光生の挨拶があつて 學式があつた

がなほこの日大連

秋

秋元選手版る 『ホノル の記述選手権大會本日の電決勝単 が合において秋元選手は左のスコープ の記述選手権大会本日の電決勝単

を対している。東大石地域では、 を対しなりと三十間性発生を対している。 を対しなりと三十間性発生を対している。 を対しなしなりと三十間性発生を対している。 を対しなしなりと三十間性発生を対している。 を対しなしなりと三十間性発生を対している。 を対しないる。 を対しないる。 を対している。 をがしている。 をがしている。 をがしている。 をがしな、 をが をお願りすることになってる。 をお願りすることになってる。 をお願りすることになるので七 を上映することになるので七 を上映することになるので七 を上映することになるので七 を上映することになるので七

の宣告を受けた小湾の宣告を受けた小湾

中 海 電気 協會 ポ 満州電氣協會 スター 募集 通りボスター 募集 通りボスター 要集 通りボスター 多金二十五田、二等金二十五田、二等金十一四、二十五田、三等金十一四、二十五田、三等金十一四、二十五田、三等金十一四、二十五田、三等金十一四、二元

し公判

校で

を 「東京三十一日登」大阪府多郷職 ・ 前電時中東京業地圏諸加利院で施 ・ 並した

田村多額議員逝去

の筋はケバー

回生理學會

森氏の神經支配法則

後に銀髪を から厳臓法院にお から厳臓法院にお

びましたが、今

査問質の報告

左の加え

日下単頭一番パース整留中の際軍 で、大院加焼中のさころ一日服チブス 大院加焼中のさころ一日服チブス 中央線の電化 チブス患者 出版に及んだが無資格のため 郷田和園館下問題に三十一日内 郷田の襲撃観にて引受くべ ・るに至ったので一日午後一時 郷市祭書官を開き率公入標に関 り鑑意契約が決定した。なは保証 の影響統に膨しなかったかり版 が聴き出たので本年度は再び内出 の事において秘密することにな 郷市祭書官を開き率公入標に関 り鑑意契約が決定した。なは保証 概の手において秘密することにな の事においてを関することにな で本年度は再び内出 が、なに関することにな の事においてを表すここ。なり で本年度は再び内出 の事においてを表することにな の事においてを表する。 漸くにして落着旅順昭和園問題

電極を開始した。この結果を除子、 には低出町、単所間が先づ電化され いよく本一日より電無機関車の いよく本一日より電無機関車の があるため、単原間が先づ電化され を表す。 ル聯隊近~歸還 本月廿五日旅順出帆 同に對しては記念面一個短贈呈す

今日から實施

道の住民は大喜びで殿餐の歌を表 順市に於てには速力に増して時間も一時間以 を命ざられには速力に増して時間は一時間以 を命ざられには速力に増して時間は一時間以 を命ざられ 常習犯人

また舉げらる

一等

金百

圓木組合通一

金五百圓 閩鄉

(建坪二十坪)

0

四居住の杜川(うして配)

簡本かなる物名 型 ご な 番の大人ニニ 五八〇六

の筋はケバーへもく眠やかで大が前方人は「看」な軽ぶから観が前方人は「看」な軽ぶから観が 大きなの活動を 一般になるものは 一般になる。

御用船から

内田組引き續 き經營

大連神社遙拜式

大連市民制製金では四月二日午後大連市民制製金では四月二日午後 市民射擊會 來る三 1は神武天皇祭につき大連神社に於ては例年の通り午前十時 長、田中市長、仙石満織總据代理 その他比子役員等30例の上遙評式 を動行すさ 大連公議會小火

五等

金五

圓用商品第百本

四等

金十

圓本組合通 **十**本

三等

金五

拾

圓用商品第二一本

後藤靜香氏講演

思りのモノが敷理されてゐる。

大連洋服商組合

一幅引附大賣出合

一幅引附大賣出合

四月三日から六月三十日迄

四月三日から六月三十日迄

四月三日から六月三十日迄

中種油酸補助券」五枚、乙種油酸補助券は五十個条流には金一個等に乙種油酸券を呈ず

中種油酸補助券」五枚、乙種油酸補助券は五十個条協には金一個等に乙種油酸療を呈ず

での洋服店でも引替へる、但と六月三十日迄に

口無抗で警察官及滿洲日無抗員立

補助券

滿洲日報

社

放鈴木氏告別式 市内橋野町昭和工業株式會社では味の素工事がいる。 一出午後一時市内天神町明照等にていたの素

文化住宅 一棟(建坪二十坪)一本金百 圖 本組合適用商品券三本金五百圖 水組合適用商品券三本金十 圖 本組合適用商品券三本

¥ を万 E 2

一、賣出し期間

ごの店からお買上になつ期間中本組合員四十五店

但し現金

の内の

四 五、發表、 致します。 甲種抽籤補助券は五枚を以て、 籤補助券、又十圓未滿の端數にもては金十圓毎に一枚の甲種抽も買上金五十圓未滿の端數に對 置き下さ 組合のごの洋服店でも引替へま 乙種抽籤補助券は五十枚を以て 對しては金一圓毎に乙種抽籤補 助券を差上げます。 抽籤券を差上げます。 てもお買上金五十圓毎に一枚の 一枚の抽籤券ご、 お買上に限る。 但し六月三十日迄にお引替 七月七日滿洲日報紙上

賣出し期間中

察官及滿洲日報社員お立會の上抽籤は七月五日滿洲日報社で警

滿 報

六月三十日迄 四月二日より

大連洋服商組合聯合大會北レ 計劃最高文化性空遊園園園時世時

其微妙な味に障らないのにも

よく知られます

杨屋泉江

MADE JAVACE

使へて、優秀な、ミツー御雨親からお子達まで、

きッワ練曲磨

何ひ快し)

直ぐこ玉露の茶を飲んでも、

に其香味の清快なる

(脂臭く無く、苦味無く、

味良く

價をお味び願上げたく、

その品質の優秀にして、

特

特に舶來品

と比較御試用

の上次

於

錢十二全 简一入(瓦十七)形大用德

箇一入プーユチ形中用帶携



生殖器障害 神經衰弱 1= 特効 Waterman's Ideal FountainBen 学足の権む何方は 満 商店 量入の三四四元元四語等 位本側樣客御對絕 入 九二一年人氣を博せる 元 上中で置禁山高龍ツ石 枝道二 田人 文第時 時 発光 東 町 高 音 計 日 店 店 就 会 店 合 業 店 店 No.A-12號新型 *70.00 は早計です 本器を就能せず蓄 を対象があるる。 禁弘阿平金小東中甲山 仓皇站行行行行行章會

CN

(86)

特寶符